

株主通信

第91期 (2022年3月期)

2021年4月1日～2022年3月31日

当社グループは、次の経営理念及び行動基本方針に基づき、事業運営に取り組んでまいります。

経営理念

**東邦チタニウムグループは
チタンと関連技術の限りない可能性を追求し
優れた製品とサービスを提供し続けることで
持続可能な社会の発展に貢献します**

行動基本方針

私たちは、経営理念を実現するため次の3つの基本方針に基づき行動します。

1. 安全とコンプライアンスを最優先し、健全で公正な企業活動を行います。
2. 変革と創造を実践し、従業員と企業の持続的成長を果たします。
3. 顧客、地域社会、株主をはじめとする全てのステークホルダーと対話を進め、信頼・共生関係を築きます。

コーポレートブランドマーク



当社のコーポレートブランドマークは、TOHO TITANIUM COMPANYの頭文字「TTC」がベースとなっていますが、「TTC」は、社名（Toho）と当社のオリジナル事業である「金属チタン事業（Titanium business）」及びその技術を活用して成長してきた「触媒及び化学品事業（Catalysts and Chemicals business）」の頭文字でもあります。

＜本コーポレートブランドマークのデザインイメージ＞

後ろの「T」は、チタンの主要用途である航空機の先端部分をイメージしたもので、色はチタニウムシルバー。

前のマークは、「T」と「C」を融合させたもので、色はノーチカルブルーを採用。この色は、当社発祥の地である茅ヶ崎の象徴であり、生命の源である海とともに、限りない宇宙をイメージさせるものです。

「C」は、絶えることなく寄せては返す波を表しており、色と併せて、限りない可能性を追求する当社の姿勢を表現しています。

さらに、「T」と「C」が融合したデザインは、共に結び合い、発展してきたチタン事業（T）と触媒及び化学品事業（C）の関係そのものを表しています。

当社は、本コーポレートブランドマークを、「チタンと関連技術の限りない可能性を追求し」、「優れた製品とサービスを提供」する当社のシンボルと位置付け、“TOHO ブランド”の確立に努めます。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

第91期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期におきましては、金属チタンの需要が新型コロナウイルス感染症の影響による前期の大幅な落込みから回復傾向となったほか、触媒、化学品の需要も堅調に推移しました。当社の主要製品の生産・販売量はいずれも前期に比べ増加し、為替円安等もあり売上高も増加しました。一方、チタン鉱石その他の原材料や各種資材、原油、電力等の価格が上昇したほか、輸送コストが急騰するなど、大幅なコストの増加が収益を圧迫する要因となりました。これを受け、各事業において、これらのコスト増加を反映した適正な販売価格の実現に向けて取り組んでまいりました。

こうした状況の下、当期の業績については、売上高は前期比53.5%増で過去最高の555億15百万円、営業利益は前期比66.8%増の52億28百万円となりました。また、経常損益は51億77百万円の利益（前期は4億17百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損益は36億95百万円の利益（前期は31億56百万円の損失）となりました。

配当につきましては、1株当たり中間配当6円、期末配当は前期から3円増配し9円とさせていただきます。

当社は、2020—2022年度中期経営計画に基づき、成長分野への重点投資による収益基盤強化に取り組んでおり、若松工場内に新設した超微粉ニッケル新工場（第4工場）について、当期中に顧客認定を取得し、量産体制に移行したほか、触媒事業でも、2022年11月の商業生産開始に向けて茅ヶ崎工場内で新工場建設を進めております。今後、これらの新工場の早期戦力化を図るとともに、引き続き中長期的な事業成長を目指した取り組みを進めてまいります。

金属チタン事業については、需要が回復に向かう一方でコストの高止まりが当面続くと見込まれる中、コスト管理を徹底して利益確保を図るとともに、サウジアラビアのスポンジ製造合併会社における生産量引上げ等を進めてまいります。

また、2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、チタン新製錬技術の開発に注力するほか、CO₂削減に向けた各種施策を推進するなど、ESGに関わる諸課題に積極的に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



東邦チタニウム株式会社
代表取締役社長 山尾康二

財務ハイライト

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2021年度実績	55,515	5,228	5,177	3,695
2020年度実績	36,159	3,135	△417	△3,156

(注) △は損失を示しております。

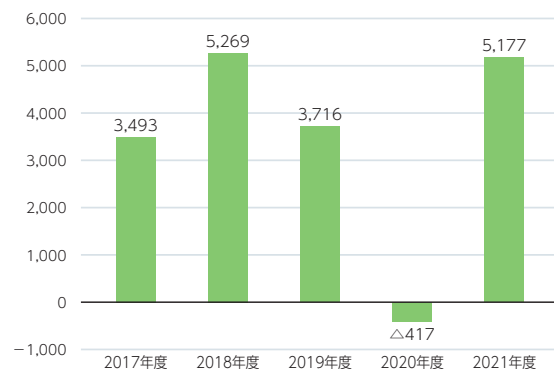
売上高 (連結)

(単位：百万円)



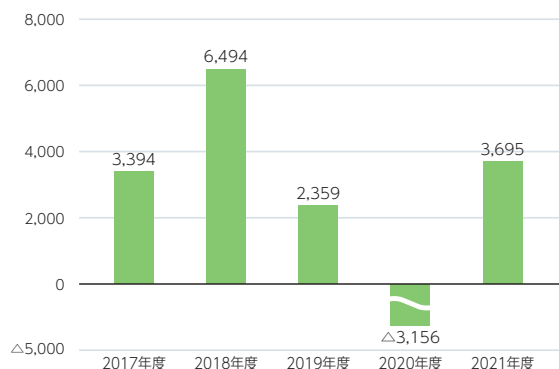
経常利益 (連結)

(単位：百万円)



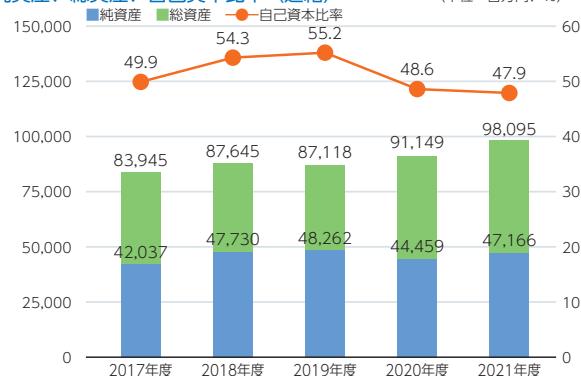
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)

(単位：百万円)



純資産、総資産、自己資本比率 (連結)

(単位：百万円、%)



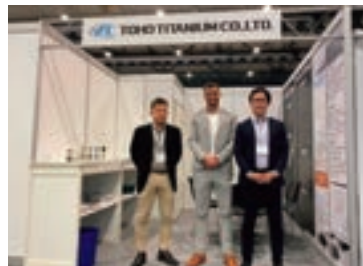
水素技術展に当社開発品「チタン多孔質薄板WEBTi®」を出展

産業用途向けチタン多孔質体WEBTi®は、固体高分子形（PEM型）水電解水素製造装置などの水素関連装置の拡散層への適用が期待されており、旺盛なサンプル要求に応えるべく、小規模量産プラントを茅ヶ崎工場に建設中です。

ドイツ・ブレーメンで開催された「Hydrogen Technology EXPO 2021 Europe」に、日鉄物産株式会社及び当社の子会社であるトーホーテック株式会社と共同でWEBTi®を出展いたしました。



会場の様子



当社ブースと説明員

意匠用新素材WEBTi-F®を使用したオブジェをスペースLABOのエントランスホールに展示

当社が開発した意匠用チタン多孔質体WEBTi-F®を使用したオブジェを北九州市に寄贈し、同オブジェがスペースLABO（北九州市科学館、4/28開館）のエントランスホールに展示されました。チタン繊維の焼結シートであるWEBTi-F®は、和紙の風合いを備えた幻想的な美しさが最大の特徴で、陽極酸化処理により鮮やか、かつ多彩に発色させることが可能な新素材です。



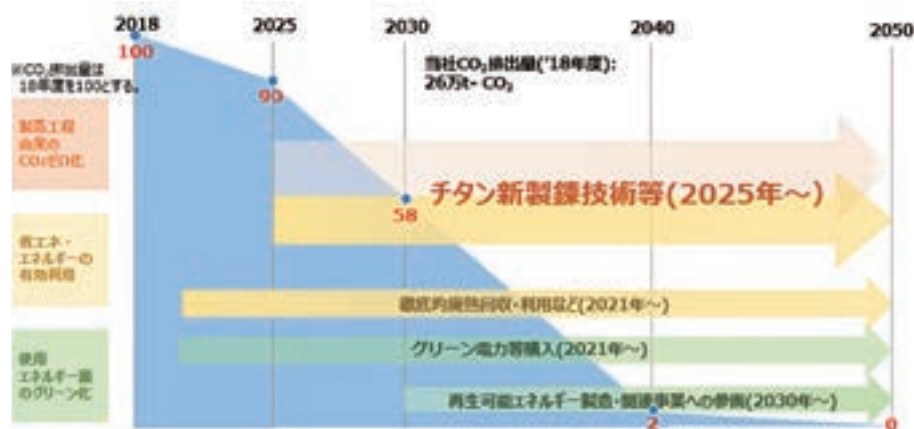
スペースLABO

オブジェ “Spectrum”（デザイン・制作：サワダデザイン）

トピックス

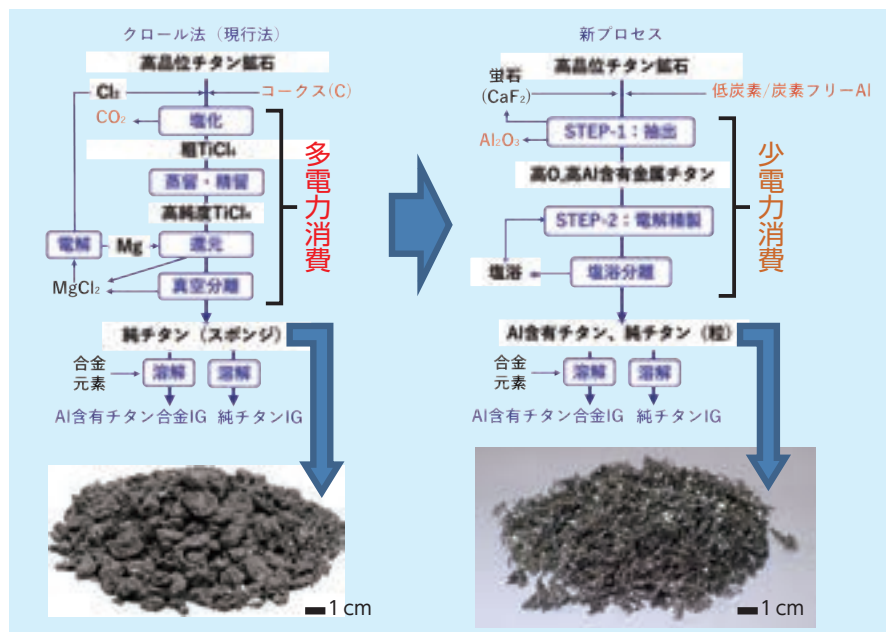
2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ

チタンの新製錬技術を中核とした施策により、2030年にCO₂排出量を40%削減（2018年度比）、2050年にはカーボンニュートラル実現を目指します。



チタンの新製錬技術開発：2022年度に実証試験へ

当社は、カーボンニュートラルの実現に向けてチタン新製錬技術の開発に取り組んでいます。当該技術については、コークスを使用しないことによるCO₂排出量の低減と、電解精製を用いることによる低電力消費の実現が期待されます。2025年度の実用化に向けて、2022年度よりパイロットプラントで実証試験を開始いたします。





当社はカーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンス加盟企業です。

【カーボンニュートラルLNGとは？】

CNLは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスをCO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）し、燃焼させても地球規模ではCO₂が発生しないとみなす液化天然ガスのことです。

ダイヤモンド社主催特別フォーラム「カーボンニュートラルはGX経営から始まる」に当社片岡常務執行役員がパネリストとして登壇

2022年3月の特別フォーラム「カーボンニュートラルはGX経営から始まる」のパネルディスカッションに、カーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンス加盟企業を代表し、当社常務執行役員片岡拓雄がパネリストとして登壇しました。

本フォーラムでは、「カーボンニュートラル社会の実現における企業の役割」というテーマで議論が交わされました。



パネリストとして登壇する片岡常務執行役員

カーボンニュートラル都市ガス導入及び供給証明書の授与

当社茅ヶ崎工場は、神奈川県内初となるカーボンニュートラル都市ガス（以下「CN都市ガス」）を導入したことにより、供給元である東京ガス株式会社より、CN都市ガス供給証明書を授与されました。

茅ヶ崎工場の都市ガスは全てCN都市ガスを採用しており、年間約6,000tのCO₂が削減されることになります。



茅ヶ崎市長佐藤市長（左）、三戸茅ヶ崎工場長（中央）、
東京ガス株式会社 小林産業エネルギー事業部長（右）
（職位は当時）

ホームページ・会社紹介動画



当社ホームページでは、IR情報をはじめとする様々な情報をタイムリーにご案内しております。

是非一度ご覧ください！

<https://www.toho-titanium.co.jp/>

会社紹介動画は
右記QRコードより
ご覧いただけます。



日本語版



英語版

会社概要 (2022年3月31日現在)

- 社名 東邦チタニウム株式会社
- 本社所在地 神奈川県横浜市西区南幸一丁目1番1号
JR横浜タワー22階
- 生産拠点 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、
日立工場、黒部工場、
岐阜工場（東邦マテリアル株式会社）
- 資本金 119億63百万円
- 従業員数（連結） 981名
- 主要な子会社 トーホーテック株式会社
東邦マテリアル株式会社
Toho Titanium America Co., Ltd.
Toho Titanium Europe Co., Ltd.

株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 6月開催
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告
- 上場証券取引所 東証プライム
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031

IRカレンダー (2022年7月～12月) (予定)

7月	8月	9月	10月	11月	12月
7月下旬 ◎2023年3月期 第1四半期 決算発表			10月下旬 ◎2023年3月期 第2四半期 決算発表		